



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社は、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝（図書カード500円）を贈呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

いいかぶ

検索

① 空メールによりURL自動送信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動送信されます。

② 携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社アーンソーウェアの登録商標です。



(1809)



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



2021 Business Report

第76期報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

証券コード 5820



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線力パー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電線事業

素材を究めた信頼性で
業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインアップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインアップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有
高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様へ

Tc Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第76期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 競 良一



Q 事業の概況を教えてください

A 当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、経済活動は制限を受けて依然として厳しい状況が続いております。

日本国内においても、企業の動向としては一部需要の持ち直しの兆しがみられましたが、変異ウイルスの発生などにより新型コロナウイルス感染症の収束時期がみえず、今後の見通しについては不透明な状況が続くものと思われまます。

また海外におきましても、ワクチンの普及や政府の経済支援等により景気回復の兆しがみられるものの、引き続き厳しい環境が続くものと思われまます。

当社グループにおきましても、従業員の健康や安全を確保するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生産量・販売量に合わせた企業活動に努めてまいりました。

当社グループに関連する設備投資や公共投資は年後半から堅調に推移してきましたが、住宅建設関連市場におきましては、依然として厳しい事業環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、一丸となり生産性の合理化やコスト削減を徹底し、販売強化や新たな技術開発の努力を行った結果、当連結会計年度は前年同期に比べ減収増益となりました。

製品開発におきましては、技術部が中心となり中堅・中小企業の炭素繊維複合材料に関する優れた技術・製品のうち、国

内外サプライチェーンの構築につながるものとしてユーザー企業等から評価が高い優れた技術・製品を表彰する[第4回コンポジットハイウェイアワード 2020](主催：コンポジットハイウェイコンソーシアム、共催：経済産業省中部経済産業局)製品・評価技術部門で、カシメーネ株式会社と共同でグランプリを受賞いたしました。

また、以前より取り組んでいた基幹システム導入につきましても、2021年5月より稼働を開始しております。

その結果、当連結会計年度における売上高は7,637百万円(前年同期比10.4%減)、営業利益は197百万円(前年同期比2.3%減)、経常利益は281百万円(前年同期比30.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は188百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

A 今後の見通しにつきましては、ワクチンの接種等による感染症対策と政府による経済支援対策により、景気は緩やかながら回復に向かうかと思われまますが、経済が本格的に回復するに至るには時間を要すると思われまます。

このような状況のなか、当社グループは、経営方針としては、ESG(環境・社会・統治)を中核に据え、経営戦略として「新分野開拓」「新製品創出」「新顧客増強」「新グローバル展開推進」に努めながら、さらなる企業価値の向上、収益確保を目指して

まいります。

また、当社グループの強みとしての水回りに強い製品の供給、技術部を中心とした高い技術開発力、日本、東南アジアを生産拠点とした海外展開の拡充をより一層展開し、さらなる躍進に努めてまいります。

電線事業につきましては、大阪・関西万博、リニア中央新幹線、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などの大型プロジェクトを取り込むため新プロジェクト部を立ち上げました。

炭素繊維を使用した電源ケーブルの実用化に向け検証中でありスピードを上げ取り組んでおります。

その他の分野では水中関連および防災関連などの用途に応じた製品開発を技術・営業の両部門で連携し新分野開拓、新製品創出について大阪大学、金沢工業大学、民間企業の協力ののもと産学連携を継続し社会に貢献できるモノづくりに取り組んでまいります。

ポリマテック事業につきましては、当事業に関連の深い住宅市場は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり新設住宅着工戸数は今後も横ばいで推移すると思われまますが、住宅関連以外の土木、電設の業種は上向くと予想されます。

高機能チューブにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で生産調整していた国内顧客が調整前の状況に戻りつつあり、海外の大口顧客も夏以降には生産調整を解除する見通しです。

このような状況を踏まえ、前期以降、取引金額が増加している既存顧客へ集中的に訪問し拡販案件の獲得や土木、住宅関連以外の新規顧客開拓の取り組みを速度を上げて推し進め売上高を確保するとともに、原材料、副資材、運送費の高止まりが予想されるなか、適正価格での販売と材料ロスの削減等の原価低減を徹底し、利益確保に努めてまいります。

下水道工事関連部材の管更正の受注は堅調であり、今後も管更正の製造技術を生かし水道への展開を進めてまいります。

また当連結会計年度から開発している抗ウイルス製品についても最終の性能確認段階まで進んでおり、引き続き抗ウイルス製品の開発を進め一般顧客への販売を目指します。

また、抗ウイルス以外の高付加価値材料を使用した新製品開発を続けてまいります。

コロナ禍のなか、製造部ではロス材料の有効活用、歩留まり率向上に向けた金型メンテナンス等を実施することで利益改

善に取り組んでまいります。

また、海外展開につきましては国際事業部と連携しフィリピン既存先への一層の売上増加を目指してまいります。

海外市場についても国際事業部、材料寄社、材料メーカーと連携し東南アジアに絞り異形押出製品の需要調査を進めてまいります。

電熱線事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見えないなか、引き続き厳しい事業環境が続く可能性があります。

コロナ禍でのサプライチェーンの混乱などから、今後、各分野、各企業において様々なリスクを分散させるためにサプライチェーンの見直しを行うことが予想されます。

また、当事業に深い白物家電分野では、実店舗販売が主体となる冷蔵庫等の大型家電はコロナ禍の影響により販売が低調に推移しております。今後の感染状況次第では引き続き低調に推移することが予想されます。一方で産業機器分野は、長期的には今後も人手不足等を背景とした自動化・省力化投資により底堅い推移が見込まれます。さらには、自動車、半導体等の回復に加え、電気自動車や高速通信規格[5G]などの次世代技術へのシフトが設備投資企業の追い風となっております。

自動車分野では、自動車のEV化など次世代技術の浸透により従来に増してカーシートヒーターや電流・電圧制御のための抵抗器需要が増す可能性が高いと予想されます。また、産業機器分野においても、EV化による自動車製造ラインの自動化率の高まりなどにより産業用ロボットの需要が増えることが予想され、抵抗器の需要も増すものと予想されます。

このような状況を踏まえ、各分野、各企業においてサプライチェーンの見直しを実施した場合に新規開拓の機会として取り組んでまいります。また、自動車分野、産業機器分野、抵抗器分野のさらなる開拓、中国を始めアジア地域を中心としたハイエンド製品向け海外市場開拓の強化に取り組んでまいります。そのための取扱鋼種および関連部材の取扱拡大に引き続き注力するとともに生産性向上と原価低減を図り、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

財務ハイライト

Financial Highlights

売上高



グループ全体で減収となったため、前年同期に比べ減収となりました。

営業利益



電線事業および電熱線事業で増益となりましたが、ポリマテック事業で大幅な減益となったため、グループ全体では前年同期に比べ減益となりました。

経常利益



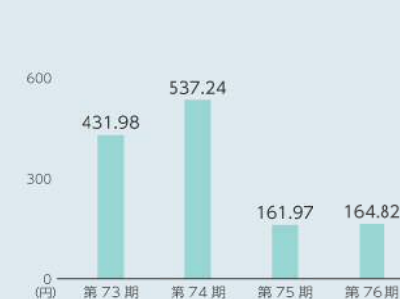
新型コロナウイルス感染症の一時帰休に対する助成金収入が増加したことにより、前年同期に比べ増益となりました。

当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益



固定資産売却益が前年同期よりも減少しましたが、経常利益が増益となったため、前年同期に比べ増益となりました。

連結1株当たり当期純利益



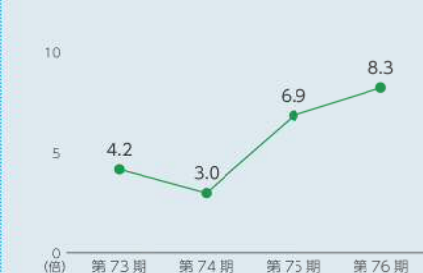
連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率 (ROE)

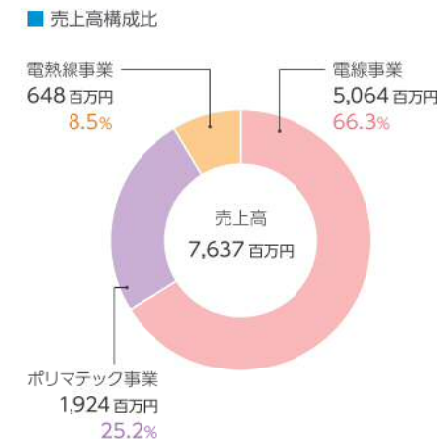


連結株価収益率 (PER)



事業別の概況

Segment Information



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

■ 連結貸借対照表



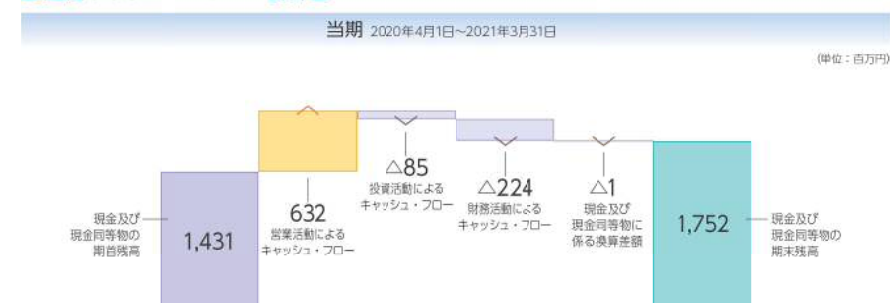
ポイント 解説

- **総資産額**
前期末に比べ3億11百万円増加し、99億79百万円となりました。
これは主に、現金及び預金の増加があったことによるものです。
- **負債総額**
前期末に比べ35百万円増加し、40億20百万円となりました。
これは主に、支払手形及び買掛金の増加があったことによるものです。
- **純資産総額**
前期末に比べ2億76百万円増加し、59億59百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



「コンポジットハイウェイアワード 2020 製品・評価技術部門」グランプリ受賞

2020年12月22日に名古屋で開催された、第4回コンポジットハイウェイアワード 2020(主催：コンポジットハイウェイコンソーシアム、共催：経済産業省中部経済産業局)の製品・評価技術部門で、合繊維長繊維織物メーカーのカジレーネ株式会社(石川県)と共同開発した「炭素繊維ワイヤー芯線による軽量・高強度・フレキシブルな電源ケーブル」がグランプリを受賞しました。

このアワードは、中堅・中小企業の炭素繊維複合材料に関する優れた技術・製品から、ユーザー企業等の評価が高い優れた技術・製品を表彰するものです。



株式の状況／会社概要

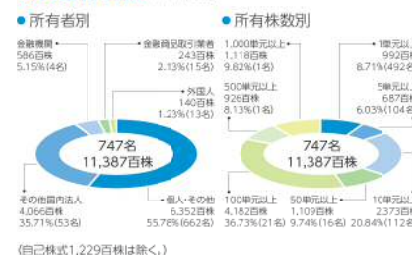
株式の状況 (2021年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 3,800,000株
- 発行済株式の総数 1,143,741株
(自己株式122,914株を除く。)
- 株主数 884名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	111,800	9.77
スリースター有限会社	92,630	8.10
津田電線株式会社	38,600	3.37
水元公仁	34,100	2.98
舟橋盛彦	32,600	2.85
三井住友信託銀行株式会社	29,400	2.57
石田英明	24,700	2.16
西崎ひとみ	23,045	2.01
株式会社タカミヤ	20,400	1.78
株式会社三菱UFJ銀行	20,150	1.76

(注) 1. 上記のほか、当社が自己株式122,914株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2021年6月24日現在)

代表取締役社長 競 良 一
取締役 松 山 元
取締役 前 田 康 智
取締役 (監査等委員) 大 林 良 寛 (社外)
取締役 (監査等委員) 中 村 健 三 (社外)
取締役 (監査等委員) 奥 澤 望 (社外)

(注) 1. 取締役(監査等委員)大林良寛氏、中村健三氏および奥澤望氏は、社外取締役であります。
2. 取締役(監査等委員)大林良寛氏、中村健三氏および奥澤望氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (2021年3月31日現在)

(連結) 227名(87名)

(個別) 158名(68名)

(注) 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



本社／大阪支店



九州支店



MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION



名古屋支店



東京支店
シルバー鋼機株式会社



滋賀工場

羽曳野工場

主要な事業所

当社

本 社 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番3号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8881(代表)

大 阪 支 店 (電線事業部・ポリマテック事業部)
〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番3号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8884(代表)
(電線事業部) TEL 06(6261)8885(代表)
(ポリマテック事業部)

東 京 支 店 (電線事業部・ポリマテック事業部)
〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル
6階 (電線事業部)
7階 (ポリマテック事業部)
(電線事業部) TEL 03(6897)8660(代表)
(ポリマテック事業部) TEL 03(6897)8663(代表)

九 州 支 店 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

名 古 屋 支 店 〒465-0095
名古屋市名東区高社一丁目253番地
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル7階
TEL 03(5651)7220(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
証券コード	5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。